

コンソール3Dを使いこなそう 頸部サブトラクション



コンソールに搭載できるアプリケーションソフトの1つに頸部用のサブトラクションソフトがあります。今回はその使い方をご紹介します。

- ① Clinical PageのGeneralから[SURE Subtraction Neck]（または[SURE Subtraction]）を選択
- ② 造影画像、非造影画像を指定して[画像読込]
- ③ 読み込み後は自動で位置あわせおよびサブトラクション処理を行います
- ④ [Volume保存]で結果画像を保存

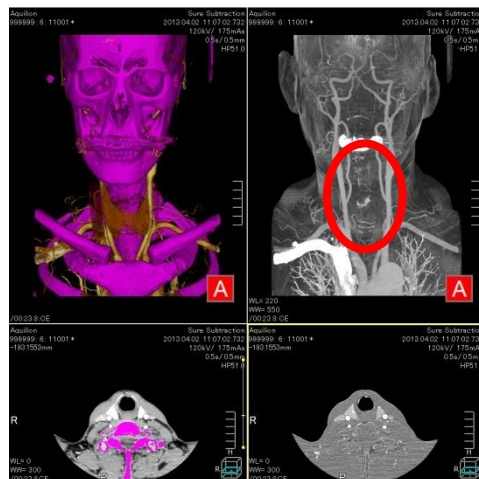


■ 位置ずれが大きいつき

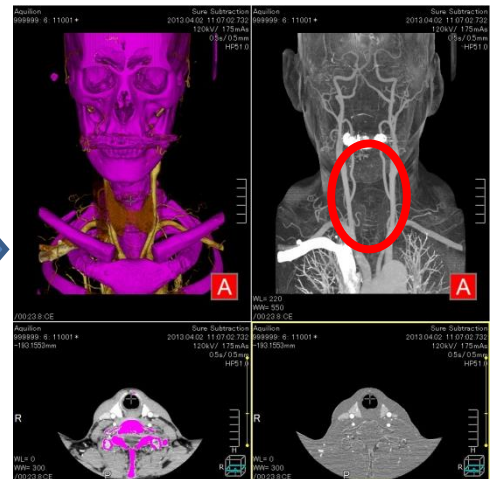
位置ずれが大きくて自動位置あわせがうまくいかなかった場合は、局所的に位置あわせをやり直すことができます。自動位置あわせは線形、局所は非線形のアルゴリズムです。

- ① 部分サブトラクションの[Focus ROI]を起動
- ② 位置ずれが気になる部分をAxi (MPR) 上でクリック
- ③ [適用]を押すとROI付近で再度位置あわせをし直します。

Focus ROI適用前



Focus ROI適用後



Sure Subtraction Neckは軌道同期ヘリカルスキャンシステムと同梱のオプションです。

※上記はAquilionONE V7.0での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。
ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。